

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	株式会社リウビー
所在地	福岡市中央区天神 2 丁目 2 - 1 2 T&J ビルディング 7F
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	情報通信業
電話番号	070-8450-0863
ホームページ	https://riwb.org/

Well-being 向上 に向けた取組み	<p>私たち RIWB (リウビー) は、研究開発や自社サービス開発を通して、個人と社会の双方の視点から「Well-being」の実現を目指すことをコンセプトにしている。</p> <p>そのため、従業員に対して、フルリモート、フルフレックスタイム制を導入し、従業員それぞれの環境に合わせて勤務できる状況を整えている。</p>		
アンケート実施	○	アンケートの 社内共有	○

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 株式会社リウェビー

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		・社内体制は5名(代表取締役1名、正社員2名、インターン2名)で、日本人4名・モンゴル人1名の多国籍構成。業務委託者にもベトナム人1名・日本人1名が継続的に参画し、スポット委託者も数名活用している。 ・性別・国籍・年齢に依らず、能力に応じた役割を担えるよう環境を整備している。						○		○	○								
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		代表取締役・エンジニア・バックオフィス・インターンの全メンバーがフルリモート・フルフレックスタイム制で勤務。クラウド型勤怠管理システムによる柔軟な勤務管理を行い、稼働時間と稼働場所はチーム運営に支障が無い限り自由としている。						○		○	○								
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・就業規則・ハラスメント防止規程を整備し、学生パートも含めた全メンバーに適用される人権尊重のルールを明文化している。 ・代表取締役およびバックオフィス担当を相談窓口とし、社員の状況に応じて社外メンタルコーチの再契約も含め柔軟に対応している。						○		○	○							○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・代表取締役が必要に応じて個別面談を実施し、業務・評価・キャリア・生活相談まで包括的に対応するとともに、内容を給与等にも反映している。 ・社員一人ひとりの個別ケアと日常的なコミュニケーションを重視し、心身の健康維持に努めている。			○		○		○										
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		・新規案件は業務量を考慮した上でプロジェクトに参画させ、業務委託の専門人材と協働しながら実務経験を通じた能力開発機会を提供している。 ・大学生インターンを継続的に受け入れ、自社の実務プロジェクトで職業の学びの場を提供している。					○	○		○	○								
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・ソフトウェア開発を主業とし、AWS・GCP等のクラウド開発環境を中心に活用することで、物理的機材・紙資源・有害化学物質の使用を発生段階から抑制する事業設計としている。 ・業務で利用するPC等の機材は可能な範囲でリユースに努めている。			○			○					○	○		○			
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○	○	○	・フルリモート勤務のため、勤務場所への通勤移動が発生せず、温室効果ガスの排出削減に貢献している。 ・自社で進めるESG/SDGsデータ分析AI開発を通じ、顧客企業の脱炭素経営も間接的に支援している。							○				○	○					
	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○	○	○	・原材料調達の不要なIT・AI開発ビジネスを主業としており、生物多様性や天然資源への直接的負荷を構造的に最小化している。 ・物理的なオフィス・倉庫を持たないフルリモート体制により、土地利用や生態系への影響も最小限としている。								○				○	○	○	○		
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○	○		・フルリモート・クラウド開発体制を採用しているため、物理オフィス運営に伴う水資源消費を構造的に発生させない事業設計としている。								○									
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○	○		・アプリ・AI開発時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施。 ・受託開発契約には検収プロセス・KPI・契約不適合責任を明文化し、品質確保の仕組みを構築している。 ・個人情報を扱うサービスは厳格なアクセス権限設計を行っている。			○									○					
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・Well-being・ESG・SDGsを評価するAI開発(自然言語処理・音声処理)を事業の柱の一つとして継続し、九州大学の研究室と連携して技術開発を進めている。 ・ホスピタリティ・インバウンド観光・教育・不動産投資の透明化等、多領域で社会課題解決型サービスを自社開発している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○	○		・個人情報保護規程を整備し、法令で要求されるものを除き、適切なアクセス権限を設定したクラウドで管理するとともに、特定環境下でのみ利用する運用としている。 ・契約書等の物理情報は本社で厳重に管理。業務委託先とはNDAを締結し、情報漏えい防止に努めている。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○	○		・労働条件通知書、業務委託契約書、NDA、就業規則、ハラスメント防止規程、個人情報保護規程等を整備・更新し、法令を確実に遵守する体制を構築している。 ・各種規程・契約書は全メンバーがアクセス可能な状態とし、法令遵守の考え方の社内浸透に努めている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○	○		・月一度、全従業員が参加する全社会議を開催し、進捗確認と経営目標共有を行っている。 ・短期・中期・長期の経営目標を明示し、各メンバーが事業全体の方向性を理解できる体制を維持している。									○	○							○
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業に必要なデータをクラウドで管理し、災害等の物理的影響を最小化する設計としている。 ・運転資金と別枠で代表取締役による積立を継続し、突発的な出費に備えている。 ・受託・自社サービスを複数領域に分散し、事業ポートフォリオ全体での継続性を確保している。											○	○					○